

第2回 走水・馬堀地域小中学校 教育環境整備検討協議会 資料

横須賀市教育委員会事務局
教育総務部 教育政策課

1 県営走水団地・防衛大学校走水宿舎の状況等

【県営走水団地】

○総戸数 208戸

○空き 55戸

○入居率 73.55%

○今後の展開 廃止・縮小の予定なし

神奈川県県営住宅 健康団地推進計画において、後期5年間
(2024~2028年)の建て替え対象団地となっている。

【防衛大学校走水宿舎】

○今後の展開 宿舎の変更については、検討されていない。

2 定住促進施策等

【これまでの取り組み】

○ファーストマイホーム応援制度（2008～2012）

生涯で初めての住宅を横須賀市内に購入

→ 3年間で最大36万円を助成

市外からの転入者で一定の要件を満たす

→ 5年間で最大48万円を助成

○スイートホーム応援制度（2008～2012）

結婚後6か月以内に市内の賃貸住宅に居住

→ 家賃1か月分（最大8万円）の奨励金

○子育てファミリー等応援住宅バンク補助金【現在実施中】

市の「子育てファミリー等応援住宅バンク」掲載物件を購入し居住

→ 最大50万円を補助

○2世帯住宅リフォーム補助金【現在実施中】

市外から転入する子ども家族と親家族が同居するためのリフォーム費用

1／2、最大30万円を補助

3 これまでの統合の事例

【これまでの統合】

現小学校	桜小		鶴久保小		坂本中		鴨居小		鴨居中		池上小	
旧小学校	坂本小	青葉小	陽光小	鶴久保小	桜台中	坂本中	光洋小	鴨居小	上の台中	鴨居中	平作小	池上小
統合時期	H11.4.1		H18.4.1		H19.4.1		H22.4.1		H23.4.1		H25.4.1	
児童・生徒 学級数 (統合前年度)	328人 12学級	127人 7学級	140人 6学級	535人 19学級	35人 5学級	464人 13学級	119人 8学級	488人 17学級	108人 6学級	474人 15学級	146人 8学級	683人 24学級
児童・生徒 学級数 (統合年度)	476人 16学級		682人 25学級		473人 16学級		585人 21学級		569人 19学級		805人 27学級	
児童・生徒 学級数 (現年度)	270人 11学級		520人 17学級		307人 9学級		323人 12学級		425人 12学級		564人 18学級	
跡地利用	(旧坂本小) 相談教室等 ・ 一部売却		(旧陽光小) 看護専門学校		坂本中		(旧光洋小) 売却		鴨居中		(旧平作小) 学校給食 センター	

3 これまでの統合の事例（１）

【鴨居小学校統合後のアンケート（抜粋）】

1. アンケート実施時期 平成24年3月（統合2年後）
2. 対 象 3～6年生 児童、保護者、教職員
3. 回 答 数 児童375人、保護者311人、教職員33人
4. 設 問 数 児童8問、保護者8問、教職員13問
5. アンケート結果（抜粋）

（１）－１ 学校の統合は心配だったか。【児童】

区 分		心配ではなかった	少し心配だった	心配だった	無回答
全体	児童	71%	20%	7%	1%
光洋小	児童	52%	31%	16%	2%
鴨居小	児童	76%	18%	6%	0%

（１）－２ 統合する前に心配なことがあったか【保護者】

区 分		心配なことがあった	心配なことはなかった	その他	無回答
全体	保護者	26%	70%	3%	1%
光洋小	保護者	44%	53%	0%	2%
鴨居小	保護者	24%	73%	2%	1%

3 これまでの統合の事例（2）

【鴨居小学校統合後のアンケート（抜粋）】

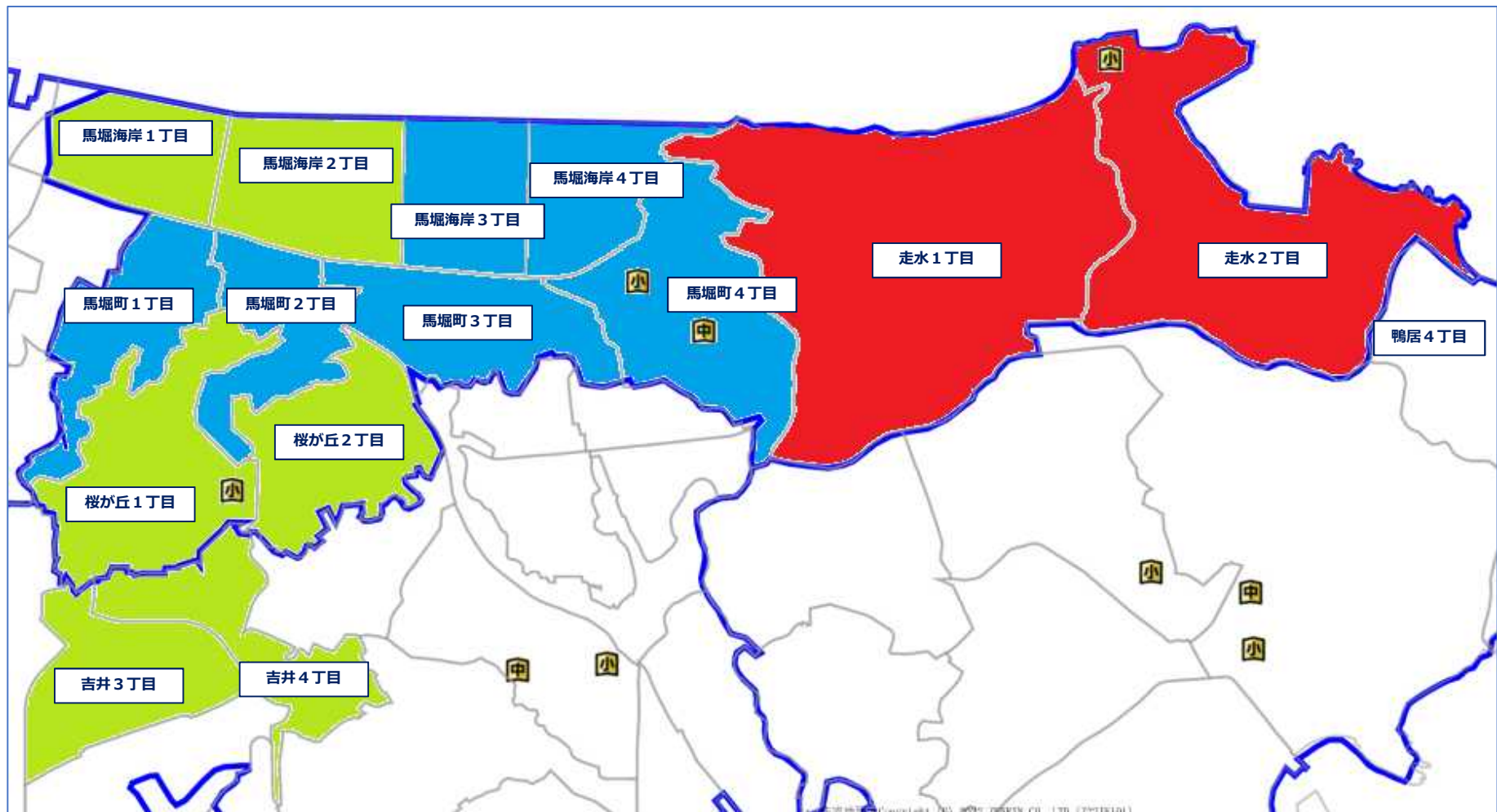
（2）新しい学校に慣れたか。【児童、保護者】

区 分		慣れた	少し慣れた	まだ慣れていない	無回答
全体	児 童	83%	14%	1 %	1 %
	保護者	94%	5%	0%	1%
光洋小	児 童	72%	25%	3 %	0 %
	保護者	82%	18%	0%	0%
鴨居小	児 童	86%	12%	1 %	1 %
	保護者	95%	3%	1%	1%

（3）学校の人数が増えたことに。【児童】

区 分		増えてよかった	増えない方がよかった	変わらない	無回答
全体	児童	56%	10%	34%	1 %
光洋小	児童	55%	22%	22%	2%
鴨居小	児童	56%	8%	36%	0 %

4 通学区域のシミュレーション（1）



4 通学区域のシミュレーション（2）

走水小学校区を馬堀小学校区に編入する場合

【通学区域図】



4 通学区域のシミュレーション（3）

【児童・学級数の推計】

学校名			R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R10年度
走水小 + 馬堀小	児童数		318	303	304	292	303	299	295
	学級数	通常	12	12	12	12	12	12	12
		特支	5	5	5	5	5	5	5
		合計	17	17	17	17	17	17	17

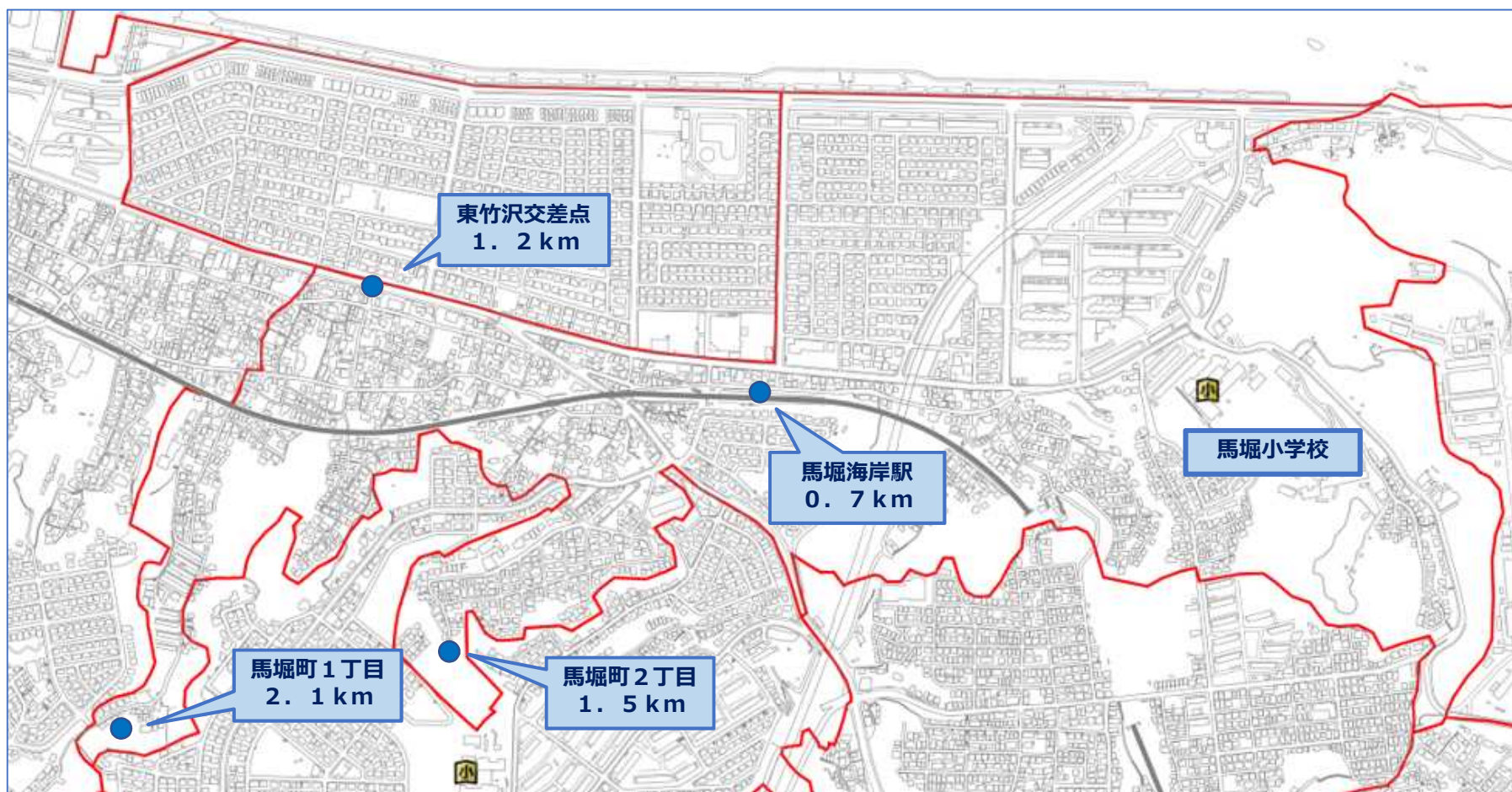
4 通学区域のシミュレーション（4）

【馬堀小学校までの通学距離】



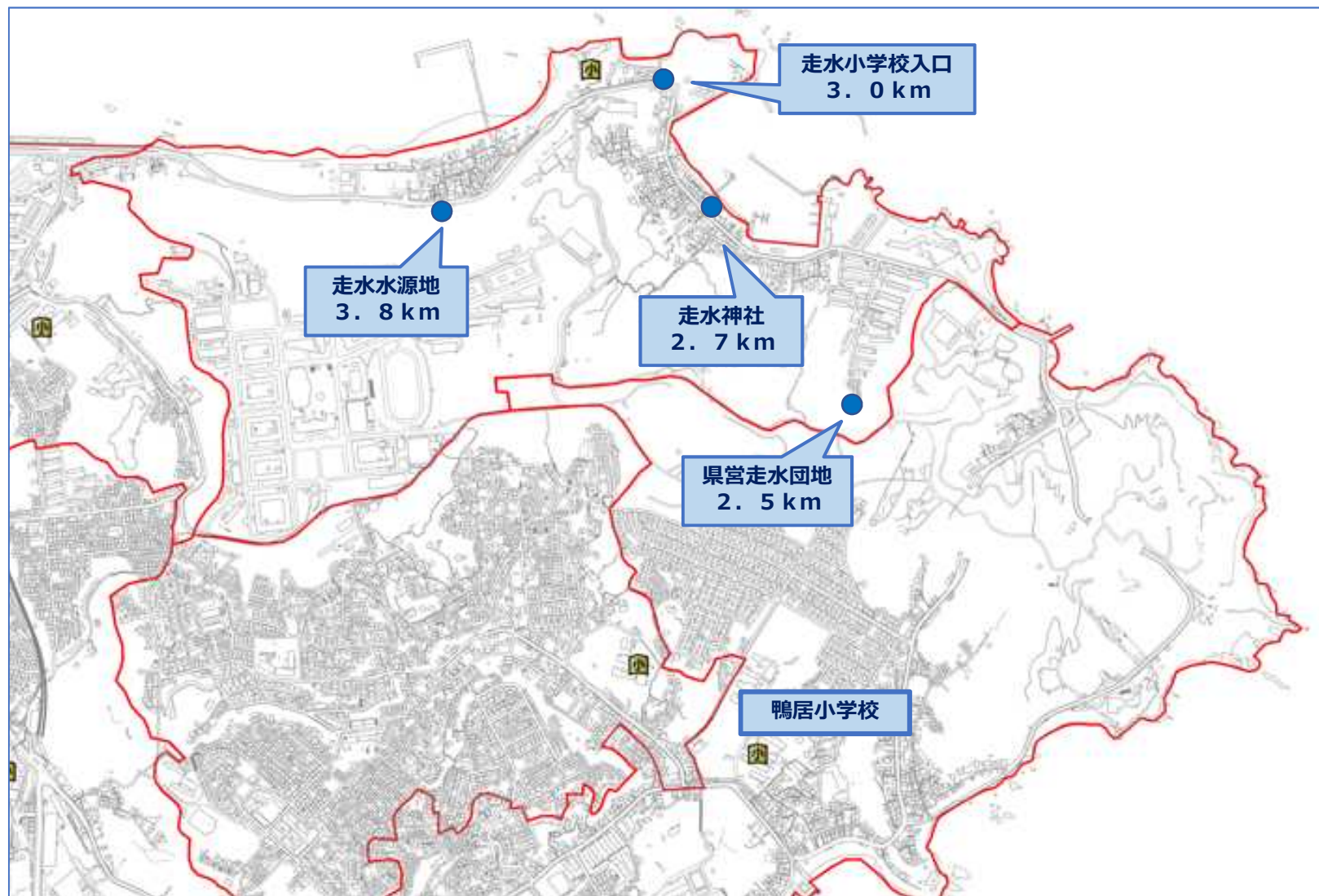
4 通学区域のシミュレーション（5）

【馬堀小学校までの通学距離】



4 通学区域のシミュレーション（6）

【鴨居小学校までの通学距離】



第2回走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会 次第

日時：令和4年7月19日（火）19時

場所：大津コミュニティセンター

- 1 第1回協議会での整理について
(資料1ページから6ページまで)
- 2 教育環境整備の検討について
(資料8ページから13ページまで)
- 3 事務連絡

【配布資料】

- ・第2回走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会 次第
- ・資料1 第2回走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会 資料

地域別小中学校教育環境整備検討協議会設置要綱

(設置)

第1条 市立小中学校の教育環境に関し、横須賀市立小中学校適正配置審議会の求めに応じて、該当地域における課題や改善策等に対する意見を聴取することにより、地域の実情に応じた教育環境の整備を行うため、該当地域に地域別小中学校教育環境整備検討協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(組織)

第2条 協議会の名称並びに対象校及び関連校は、別表に掲げるとおりとする。

2 協議会は、委員16人以内をもって組織する。

3 協議会は、次に掲げる者をもって構成する。

(1) 対象地域の町内会・自治会長

(2) 別表に掲げる対象校及び関連校のうち小学校の保護者

(3) 別表に掲げる対象校及び関連校の校長

(4) その他教育委員会が必要と認める者

4 委員の任期は、2年以内とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 協議会に委員長を置き、委員が互選する。

2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第4条 協議会の会議は、委員長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会は、必要に応じて委員以外の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第5条 協議会の庶務は、教育委員会事務局教育総務部教育政策課において行う。

(その他の事項)

第6条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

別表（第2条第1項関係）

協議会の名称	対象校及び関連校
田浦地域小中学校 教育環境整備検討協議会	田浦小学校・長浦小学校・船越小学校 田浦中学校
走水・馬堀地域小中学校 教育環境整備検討協議会	走水小学校・馬堀小学校・馬堀中学校

地域別小中学校教育環境整備検討協議会の傍聴に関する実施要領

(総則)

第1条 この要領は、地域別小中学校教育環境整備検討協議会（以下「協議会」という。）の傍聴に関し必要な事項を定めるものとする。

(傍聴人の定員)

第2条 会議の傍聴者の定員は、原則として10人以内とし、椅子席のみとする。

2 傍聴を希望する者が前項の定員を超えた場合は、抽選で傍聴者を決定する。

(傍聴章)

第3条 抽選により選出された傍聴者は、傍聴章（別記様式）の交付を受け、これを常時見えるところに着用しなければならない。

2 抽選により選出された傍聴者は、傍聴を終え退場するときは、前項の傍聴章を返却するものとする。

(傍聴者の遵守事項)

第4条 傍聴者は、次の事項を守らなければならない。

(1) 協議会委員の発言に対し、拍手その他の方法により賛否を表明しないこと。

(2) 話をし、又は笑って騒ぎ立てないこと。

(3) 鉢巻き、腕章の類をする等の示威的行為をしないこと。

(4) 帽子、コート、マフラーの類を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により委員長の許可を得たときは、この限りでない。

(5) 飲食又は喫煙をしないこと。

(6) 写真、ビデオ等を撮影し、又は録音をしないこと。

(7) むやみに席を離れないこと。

(8) 前各号に定めるもののほか、会議の秩序を乱し、又は会議の妨げになるような行為をしないこと。

(違反者に対する措置)

第5条 傍聴者が前条の規定に違反したときは、委員長はこれを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

附 則

この要領は、令和4年4月1日から施行する。

No. 1 ○○地域小中学校教育環境整備
検討協議会

傍 聴 章

(お帰りの際は事務局へお返してください。)

走水・馬堀地域小中学校教育環境整備検討協議会について

1 設置目的

市立小中学校の教育環境に関し、横須賀市立小中学校適正配置審議会の求めに応じて、該当地域における課題や改善策等に対する意見を聴取することにより、地域の実情に応じた、教育環境の整備を行うため、該当地域に地域別小中学校教育環境整備検討協議会を設置する。

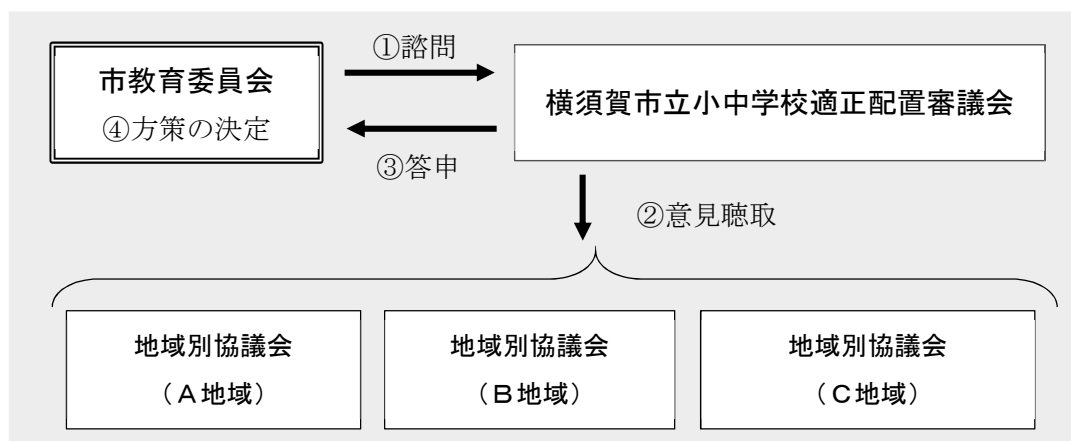
2 検討体制・組織

教育委員会は附属機関である横須賀市立小中学校適正配置審議会に諮問します。

審議会は、地域ごとに学校関係者、保護者、地域の方々と構成する地域別協議会に意見聴取を行い、検討します。

地域別協議会は、地域ごとの将来像を見据えながら、学校関係者、保護者及び地域の方々等、それぞれの立場から「現在と未来の子どもたちのより良い教育環境のために」という共通の視点で意見を出し合います。

教育委員会は、審議会からの答申を受けて、教育環境の整備についての方策を決定します。



3 委員構成

所属・役職等		人数
地域関係者	・ 大津、走水の各町内会会長	2 人
保護者	・ 走水小学校、馬堀小学校、 地元幼稚園、保育園の保護者	4 人
学校運営協議会	・ 走水小学校、馬堀小学校	2 人
学校関係者	・ 小中学校校長	3 人
計		11 人

(参考)

横須賀市立小中学校適正配置審議会委員

令和4年5月1日現在

No	氏 名	役 職 等
1	出 石 稔	関東学院大学 法学部教授
2	上 田 滋	横須賀市連合町内会代表
3	黒 川 理 美	小学校校長会代表
4	櫻 井 聡	横須賀市P T A協議会 会長
5	外 川 翔 大	三浦半島地区教職員組合 書記長
6	藤 枝 聡	立教大学 総長室次長
7	宮 田 丈 乃	横須賀市保育会 会長

(敬称略 50音順)